

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午後、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。
 検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で8,900cells/ml確認されました。
 浦ノ内湾の広い範囲でシャットネラ属が漁業被害が想定される密度を超えていました。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ
鳴無	1.5m	1,200	0
中学校前	1.5m	6,200	0
目ノクソ	2.5m	80	0
光松	2m	4,200	0
大鹿	2m	170	0
着色部	0.5m	8,900	0

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類のへい死)

